

# 飛騨川森林計画区

## 次期森林計画についての森林管理署の考え方



御嶽山

岐阜森林管理署

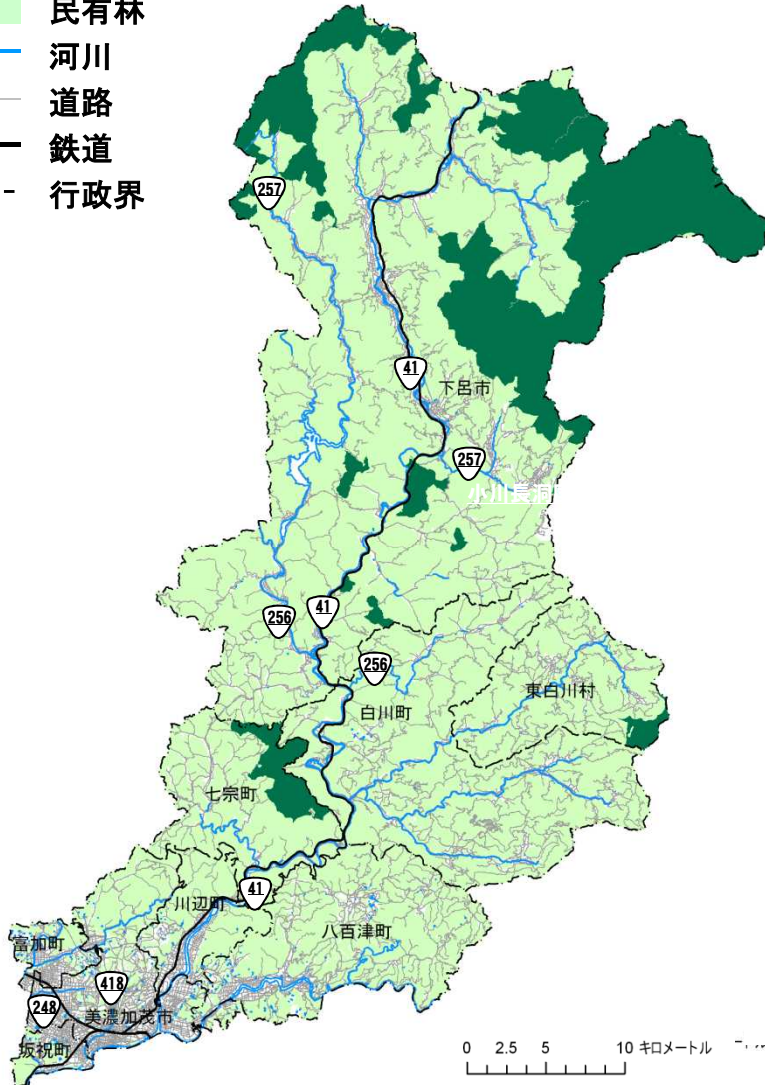
# 1. 計画区の概要

- 飛騨川森林計画の国有林野は、岐阜県の中央東部(下呂市、七宗町、東白川村)に位置し、その面積は23,952haで飛騨川森林計画区全森林面積の18%を占めています。
- 本計画区は、地形地質等の条件から国有林野のほぼ全域が水源かん養、土砂流出防備等の保安林に指定されており、中京圏の水源としての役割を担っています。
- 本計画区は、木曾川森林計画区と並んで岐阜県の主要な林業地帯であり、「東濃桧」に代表される木材の主要な生産地となっています。
- 御嶽山等の山岳や飛騨川の渓谷等の自然景観に恵まれた地域は、自然公園に指定され、登山など森林を利用したレクリエーションの場として多くの人々に利用されています。
- 国有林の森林構成は、天然林が37%、人工林が57%、高山帯等その他が6%と人工林率が高い計画区です。天然林は、コメツガ、シラベ、トウヒ等の針葉樹林とナラ、カンバ等の広葉樹林がそれぞれ半分程度を占めています。人工林は、スギ、ヒノキ、カラマツが主体です。

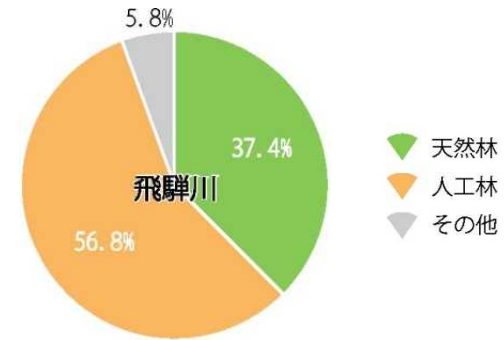
# 飛騨川森林計画区の森林資源の状況

- 国有林
- 民有林
- 河川
- 道路
- 鉄道
- 行政界

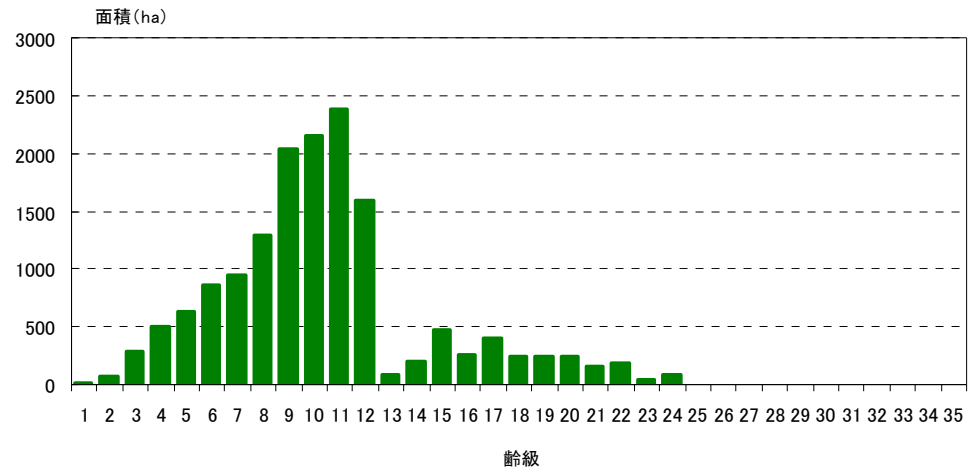
## [国有林の分布]



## [天然林と人工林割合]



## [人工林の齢級別面積]



## 2. 現行計画の概要

### (1) 国有林野の管理経営の基本方針

国土保全、水源のかん養、自然環境の保全等の森林の有する公益的機能を積極的に高めていくことを基本とし、併せて木材の計画的かつ持続的な供給や国有林野の活用等による地域産業の振興等に寄与することとして、具体的には個々の森林を、重点的に発揮させるべき機能に応じて、3つの類型に区分し適切な管理経営を行います。

#### 水土保全林

土砂崩れの防止といった国土の保全、水源かん養など、安全で快適な国民生活を確保することを重視して森林を守り育てます。



#### 森林と人との共生林

野生動物の重要な生息地や希少な植物群落の保護など貴重な自然環境の保全や森林とのふれあいの場を提供することを重視して森林を守り育てます。

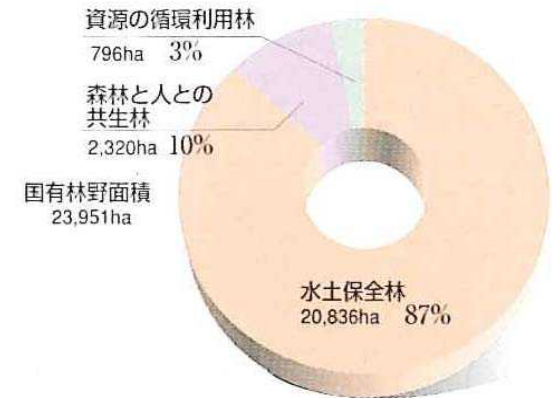


#### 資源の循環利用林

水源のかん養などの公益的機能に配慮しながら、持続的・計画的に木材を生産するための森林づくりを行います。



### 飛騨川 森林計画区の 機能類型別面積



## (2)主要事業の計画

地球温暖化防止のための森林吸収源対策(森林整備により、光合成による二酸化炭素の吸収・貯蔵を高める取組)、木材の持続的な供給等、計画区における事業意義を踏まえ、平成19年度～平成23年度の5ヶ年間ににおける伐採、更新、保育、林道、治山を計画しています。

### 伐採量

現行計画量(m3)	
主伐	間伐
21,713	157,151

### 更新量

現行計画量(ha)	
人工造林	天然更新
31	28

### 保育量

現行計画量(ha)		
下刈	つる切	除伐
233	103	500

### 林道

現行計画量		
	箇所数(箇所)	延長(m)
開設		
改良	50	1,000



高性能林業機械を取り入れた間伐事業

### 治山

現行計画量(箇所)	
溪間工	20
山腹工	20

### (3) 国有林野の維持、保存に関する取組

○ 希少な野生動植物の生息・生育環境の保全等を目的として5箇所<sup>①</sup>に保護林を設定しており、その適切な管理を通じた生物多様性を保全しています。



赤沼田天保ヒノキ植物群落保護林  
(下呂市赤沼田国有林)



名古屋シラベ、トウヒ、コメツガ林木遺伝資源保護林  
(下呂市落合国有林)

# 保護林

- 国有林
- 保護林
- 民有林
- 河川
- 道路
- 鉄道
- 行政界

老谷ささやき自然の森  
郷土の森



保護林等名称	特徴	面積 (ha)
林木遺伝資源保存林	主として林木の遺伝資源を自然生態系内に保存する。	28
植物群落保護林	我が国又は地域の自然を代表するものとして保護を必要とする植物群落などを保護する。	1,543
郷土の森	地域の自然・文化のシンボルとしての森林の保護を図る。	28



東白川郷土の森  
(東白川村越原国有林)

保護林が3箇所設定されています。これらの場所は動植物保護のために保全しています。また、郷土の森として2箇所設定されています。

#### (4) 林産物の供給に関する取組

○ 本計画区は、需要・販路の拡大を図る必要がある間伐材について、地域における中核的な木材加工業の育成等を図るためのシステム販売を積極的に行っています。

#### (5) 国有林野の活用に関する取組

○ 本計画の落合国有林等には自然景観が優れた国有林野が多く、登山、キャンプ、滝めぐり、自然観察等森林レクリエーションの場として多くの人々に利用されていること等から、地元自治体等と調整を図りながら国民の保健、文化、教育的利用に資するレクリエーションの森の活用を推進することとします。

#### (6) 国民の参加による森林の整備

○ 国民参加の森林整備を推進することとし、ボランティア、NPO等による自主的な森林整備活動の場等のフィールドの場を提供しています。

# レクリエーションの森

- 国有林
- 民有林
- 河川
- 道路
- 鉄道
- 行政界
- レクリエーションの森

**舟山自然観察教育林**

**御岳自然休養林**

**乗政森林スポーツ林**

名称	特徴	面積 (ha)
自然休養林	人と森林とのふれあいの場として指定した地域。	599
自然観察教育林	自然観察学習に適した場として指定した地域。	8
森林スポーツ林	森林とふれあうアウトドアスポーツに適した森林。	11
風致探勝林	渓谷など潤いある自然景観を構成している地域。	64

**レクリエーションの森として5箇所が設定されています。**

**馬瀬川風致探勝林**

**スケガ谷風致探勝林**



**馬瀬川風致探勝林  
(下呂市川上国有林)**



**御岳自然休養林パノラマグラウンド  
(下呂市落合国有林)**

### 3. 次期計画の考え方

#### (1) 管理経営上の課題

○ 当地域の国有林については、中京圏や地域の水源であることから、水源かん養機能、国土保全機能などの公益的機能の維持増進、これらの機能が発揮できるよう、多様で健全な活力ある森林の整備・保全を推進することが必要です。

○ 林野庁では、平成20年度から平成24年度までを第1約束期間として森林吸収源対策に取り組んでおり、当計画区においても、間伐等の森林整備を着実に実行していく必要があります。

○ 平成21年12月に策定された「森林・林業再生プラン」(農林水産省)を踏まえ、率先して森林施業における民有林と国有林が一体となった共同施業団地化に取り組み、路網と高性能林業機械を組み合わせた「低コスト・高効率の作業システム」の導入を図り間伐材の利用を推進する必要があります。

○ 森林のうち人工林が71%と高い割合を占めており、その整備を進めていく必要があります。また各種保護林やレクリエーションの森を設定しており、これらの森林を適切に管理していく必要があります。

## (2)計画内容等の考え方

### ① 森林施業の基本方針

多様で健全な活力ある森林の整備・保全を推進するため、個別の森林の現況や期待される機能を踏まえ、望ましい森林の姿へ誘導することとし、必要な森林施業を行うこととします。

### ② 森林吸収源対策の推進

人工林については着実に間伐等の森林整備を実施します。

### ③ 民国一体となった施業団地の取組

民有林と国有林が一体となった共同施業団地化に取り組み、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト高効率作業システムの導入を図り利用間伐を推進します。

### ④ 民間との共同による森林施業の推進

サントリーホールディングス株式会社と結んだ社会貢献の森の協定に基づき、きめ細かな水源の森の造成を推進します。



**路網による間伐材搬出**



**社会貢献の森 樹幹流量測定装置**  
**(東白川村越原国有林)**

**⑤ 地域NPOとの共同による森林レ  
クリエーションの推進**

NPO法人小坂200滝の行う小坂  
滝めぐりについて、安全なフィールド  
の提供に協力します。



**滝巡り 回廊の滝（下呂市落合国有林）**